

事 務 連 絡  
令和4年6月24日

一般社団法人 日本総合健診医学会 御中

厚生労働省健康局健康課  
厚生労働省健康局結核感染症課

「風しんの追加的対策」における  
厚生労働行政推進調査事業への協力依頼について

平素より「風しんの追加的対策」に格別の御配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

今般、本対策対象者（昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性。以下「対象者」とする。）の利便性を高め、抗体検査及び第5期定期接種の実施率を向上することを目的として、健診等で医療機関を受診する対象者を対象として、風しんイムノクロマト法迅速キット（以下「迅速キット」とする。）を用いて、風しん抗体検査から第5期風しん定期接種まで単回受診で完結する仕組みの運用の妥当性について検証するための研究を、厚生労働行政推進調査事業として実施することとしました。

迅速キットについては、第57回厚生科学審議会感染症部会及び第46回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会（令和3年12月17日開催）において、本対策で使用できる検査方法に含めることが認められました。迅速キットは、抗風しんウイルスIgG抗体及び同IgM抗体を検出します。

研究で医療機関にお願いする具体的な対応としては、迅速キットによる抗体検査及びワクチン接種、風しんIgM抗体陽性の場合はペア血清による風しんIgG抗体定量検査、その他風しんIgM抗体陽性の機序の解明のため、受検者の同意を得た上で、残血清の研究班への提供、結果報告等となります。

つきましては、別紙の研究説明資料について御了知いただくとともに、貴会会員に対し、本研究への参加について周知いただくなど特段のご配慮をお願い申し上げます。

研究への参加は任意ですが、令和4年3月時点における本対策の風しん抗体検査の全国実施割合は、約25%にとどまっており、国際的な人の往来の再開による海外からの風しんウイルスの持ち込み等より、対象世代を中心に風しんの全国流行が起こる可能性が懸念されるところ、多くの医療機関に研究にご協力いただきたく、何卒お願い申し上げます。なお、質疑応答集を研究班webサイトで掲載しておりますのでご参照ください。また、同様の事務連絡を都道府県等に発出しておりますことを申し添えます。

## 記

- 研究課題名  
風しんイムノクロマト法迅速キットの活用に関する研究
- 研究期間  
令和4年3月3日～令和5年3月31日  
※迅速キットの使用期限については、期限の2か月程前に再度ご連絡します。
- 実施体制  
研究代表者：森 嘉生（国立感染症研究所）  
研究分担者：森野 紗衣子（国立感染症研究所）  
研究責任者：多屋 馨子（神奈川県衛生研究所）
- 研究班 web サイト（参加申込等）  
<https://en.surece.co.jp/fusin/login.php>  
医療機関認証用 ID：rube2022  
パスワード：antibodypw
- 研究に関する問い合わせ窓口  
研究班事務局：(株) 三菱総合研究所、(株) サーベイリサーチセンター  
Tel：0120-409-492（平日 9:00～18:00 受付）  
Mail: rubella2022@surece.co.jp
- 迅速キットに関する問い合わせ  
アボット ダイアグノスティクス メディカル株式会社  
お客様相談室 TEL：0120-1874-86  
製品名：バイオライン ルベラ IgG/IgM（風疹ウイルス免疫グロブリン G キット／風疹ウイルス免疫グロブリン M キット）  
【注意】
  - ◆ バイオライン ルベラ IgG/IgM は、保険未収載です。本研究の協力医療機関が風しん第5期定期接種対象者に対し使用する場合以外は、全額自己負担となりますのでご注意ください。
  - ◆ 卸売販売業者への注文は、研究班へ参加申込を行い、協力医療機関として承認を受けてから行ってください。

以上